

2025 年 5 月 16 日

神戸親和大学 授業評価アンケート結果
(2024 年度)
【全学科統合版】

神戸親和大学 授業評価専門部会

アンケートの概要

1 目的

学生の授業に対する評価や意見及び要望等を把握することにより、学生の実態に合わせた授業改善に取り組むことを目的とする。

2 アンケート対象

原則全科目を対象とする（ただし、実習、海外研修等、実施形態が他の科目と異なるものは除く）。

3 調査方法および調査期間

各学期末に、Shinwa Smile.net を用いてオンラインで回答させる。2024 年度の調査期間は下記のとおり。

学期	調査期間
2024 年度 春	2024 年 7 月 16 日（火）～ 2024 年 8 月 2 日（金）
2024 年度 秋	2025 年 1 月 15 日（水）～ 2025 年 2 月 3 日（月）

4 アンケート回答状況

2024 年度の回答状況は下記のとおり。例年は春学期の方が回答率が高くなるが、今年度は秋学期の方が高い結果となった。またこの表には示していないが、学年が上がるにつれ、回答率が低くなる傾向がある。

実施時期	対象授業数	延べ履修者数	延べ回答者数	回答率
2024 年度 春	508	15,848	5,875	37.1%
2024 年度 秋	505	14,729	6,197	42.1%

5 アンケート項目（12 項目からなる）

問 1：欠席回数について

① 6 回以上 ② 4～5 回 ③ 3 回 ④ 2 回 ⑤ 1 回 ⑥ 0 回

問 2：授業外学習時間

① ほとんどしなかった ② 30 分程度 ③ 1 時間程度 ④ 2 時間程度 ⑤ 3 時間程度
⑥ 3 時間以上

問 3：難易度

① 易しかった ② やや易しかった ③ 適切だった ④ やや難しかった ⑤ 難しかった

問 4：この授業のシラバスを読んだ

① 全く当てはまらない ② 当てはまらない ③ あまり当てはまらない
④ やや当てまる ⑤ 当てはまる ⑥ とても当てはまる ⑩ 不明・回答不能

以下の問 5～問 11 は、①を「全くそう思わない」、⑥を「とてもそう思う」として、6 段階（①～⑥）で評価する。ただし「不明・回答不能」は⑩を選ぶようにする。

問 5：授業の進行について必要な情報が提供された
問 6：担当教員の教え方は適切であった
問 7：担当教員の一方的な授業ではなく双方向的な授業であった
問 8：この授業の内容が理解できた
問 9：わたしの授業態度はよかった
問 10：成績評価方法や成績基準について理解できた
問 11：担当教員からの質問（授業内で指示があった場合のみ回答）

問 12：授業についての感想・希望等（自由記述）

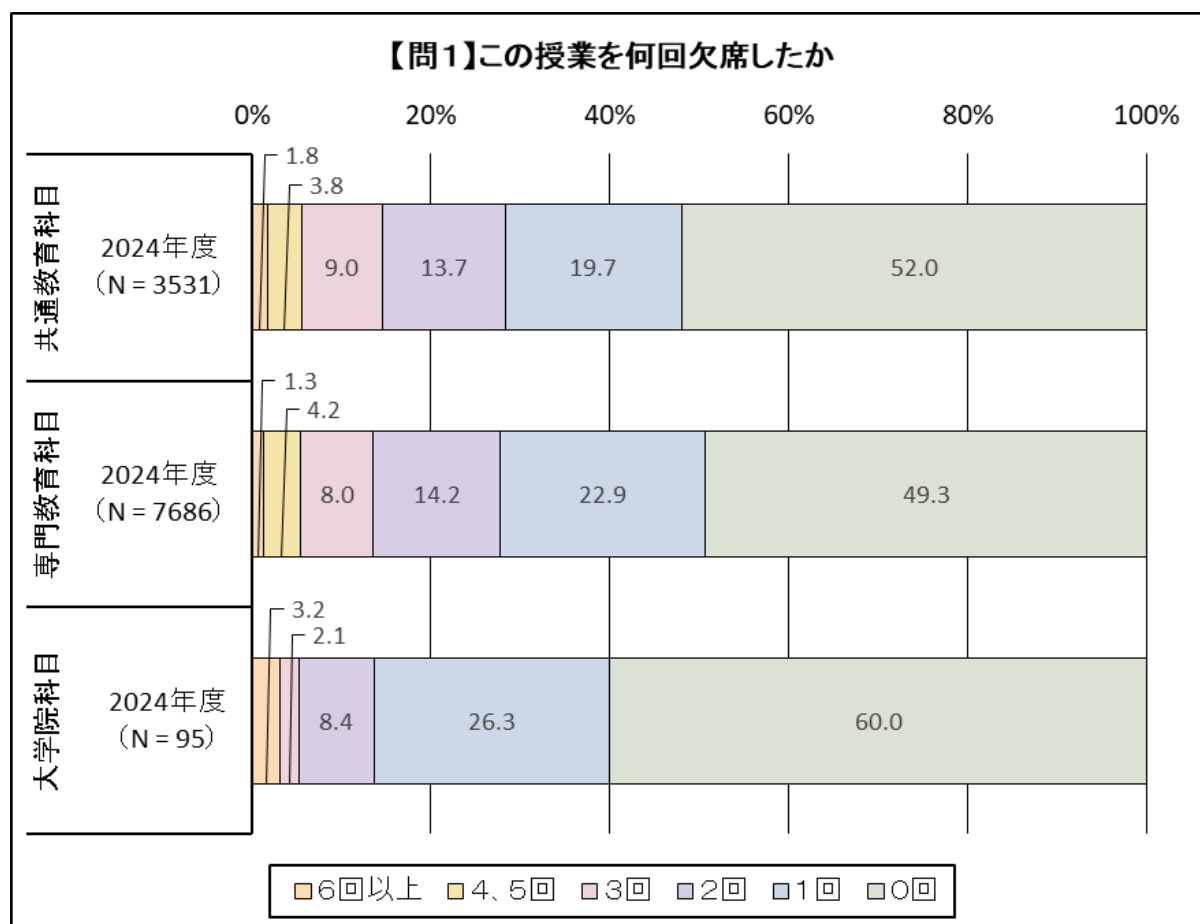
6 集計方法

本報告では、アンケート対象授業を「共通教育科目」「専門教育科目」「免許資格等科目」「大学院科目」の4カテゴリーに分け、それぞれのカテゴリーに関して問1から問10の単純集計を行った。なお、「免許資格等科目」は本報告では割愛している。

また、選択肢に換算値を付与し、有効回答における平均換算値を算出した。なお、問11は担当教員によって質問内容が異なり、また問12は自由記述回答であるため、これらの分析は本報告では割愛している。

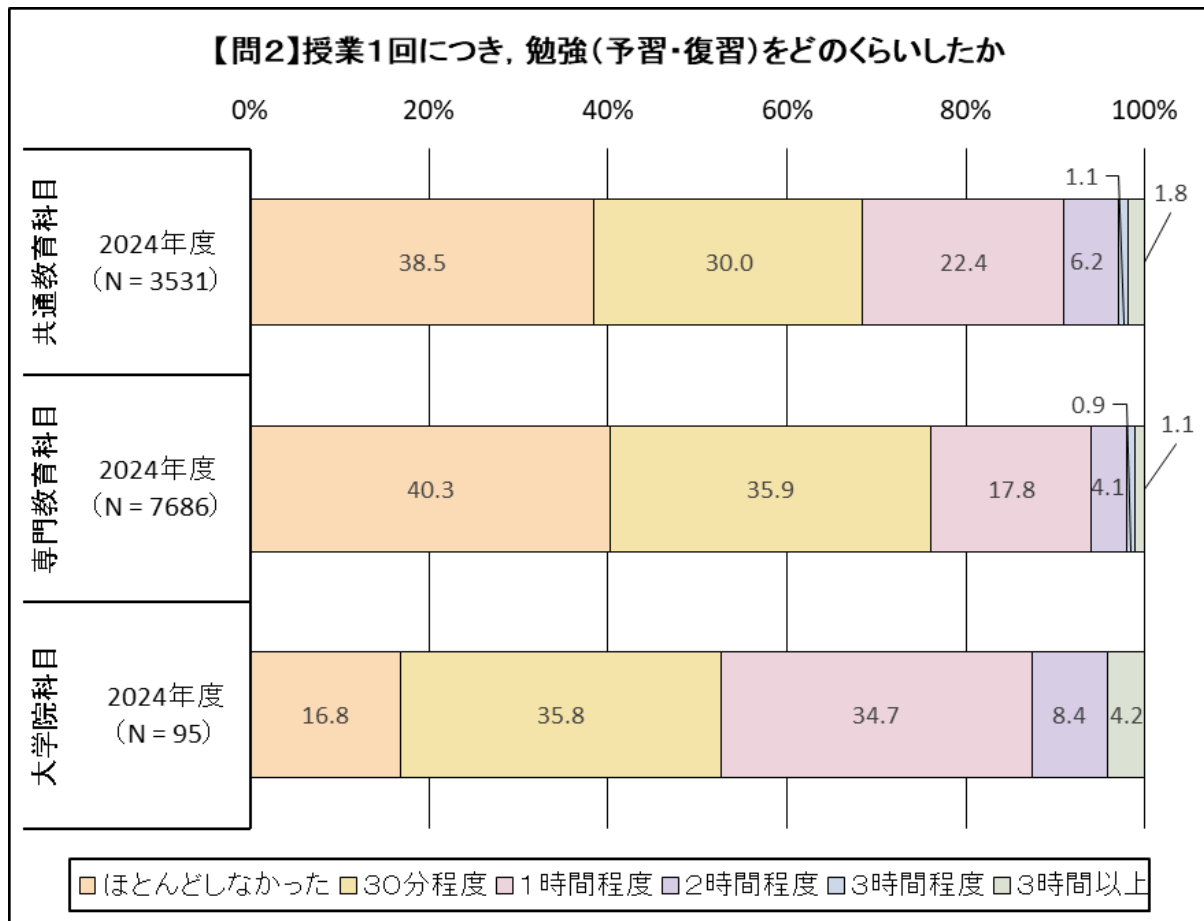
問1：この授業を何回欠席したか

- ・ 共通教育科目，専門教育科目については欠席数 0 回の割合が 50%前後となっており、欠席数 1 回以下の割合が 71%を超える。
- ・ 大学院科目については欠席数 1 回以下の割合が 86.3%となっている。



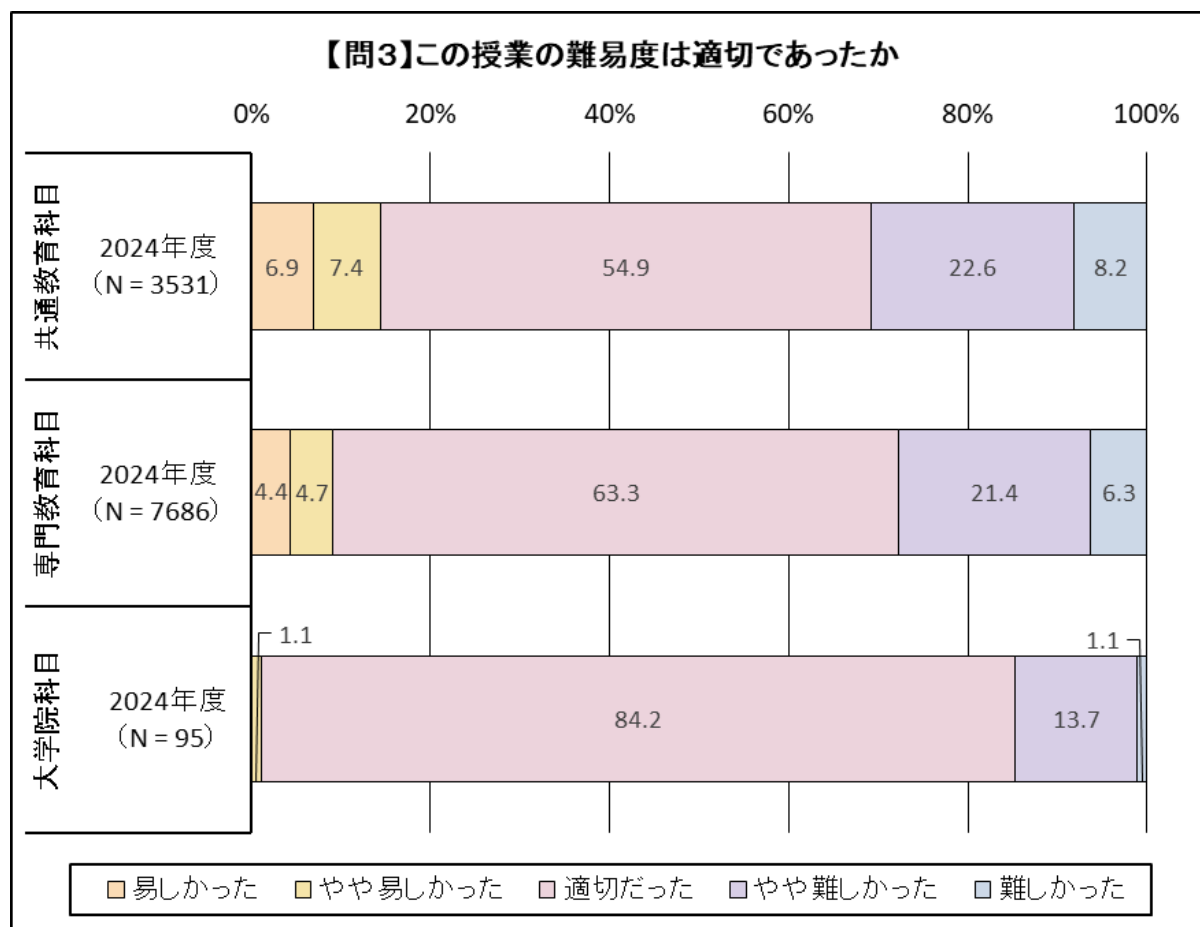
問2：授業1回につき，勉強（予習・復習）をどのくらいしたか

- ・30分以下の割合が共通教育科目で68.5%、専門教育科目で76.2%となっている。
- ・大学院科目については学部科目と比べて時間外学習の時間が増え、1時間以上が4割を超える。



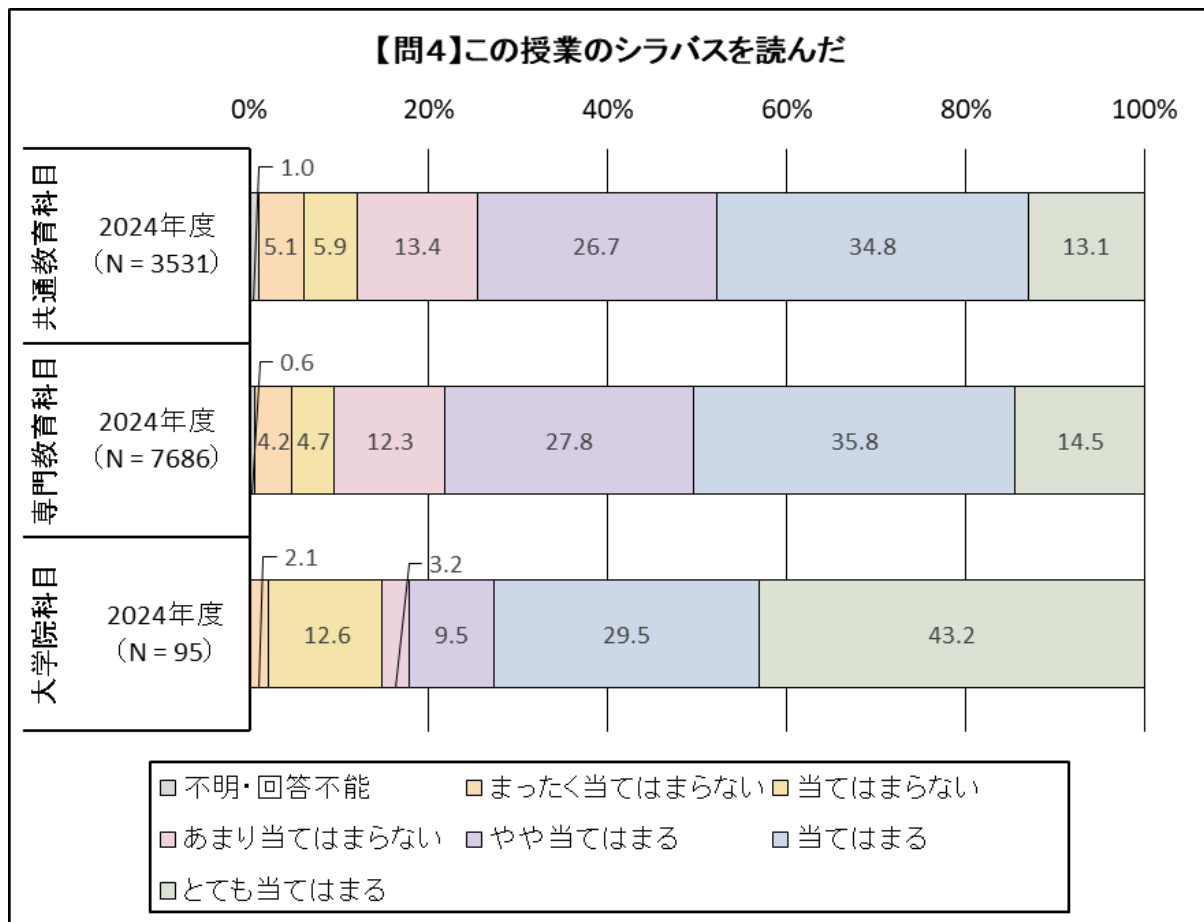
問3：この授業の難易度は適切であったか

- ・「①易しかった」もしくは「②やや易しかった」の割合が、共通教育科目で約14%、専門教育科目で約9%であり、専門性が高くなると「易しい」と感じる割合が減少するが、その一方「④やや難しかった」「⑤難しかった」の合計は共通教育科目で3割、専門教育科目では約28%であり、専門教育科目の方が各自の興味関心との整合性が取れていると推測できる。
- ・大学院科目については「③適切だった」の割合が84%を超える。



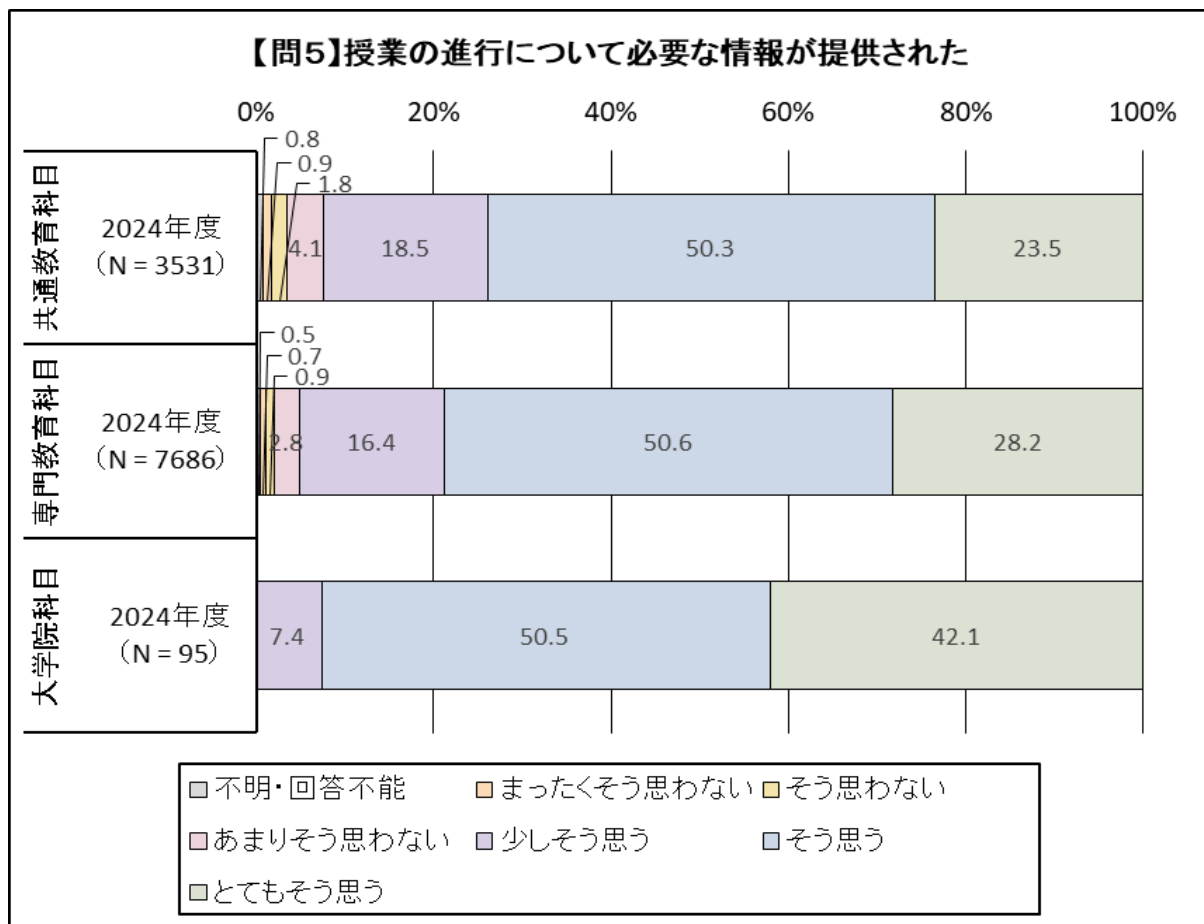
問4：この授業のシラバスを読んだ

- ・学部科目については「当てはまる」または「とても当てはまる」の割合が50%前後となっている。
- ・大学院科目については「当てはまる」または「とても当てはまる」の割合は72.7%となっており、大学院生の方がシラバス内容を確認してから授業に臨んでいる。



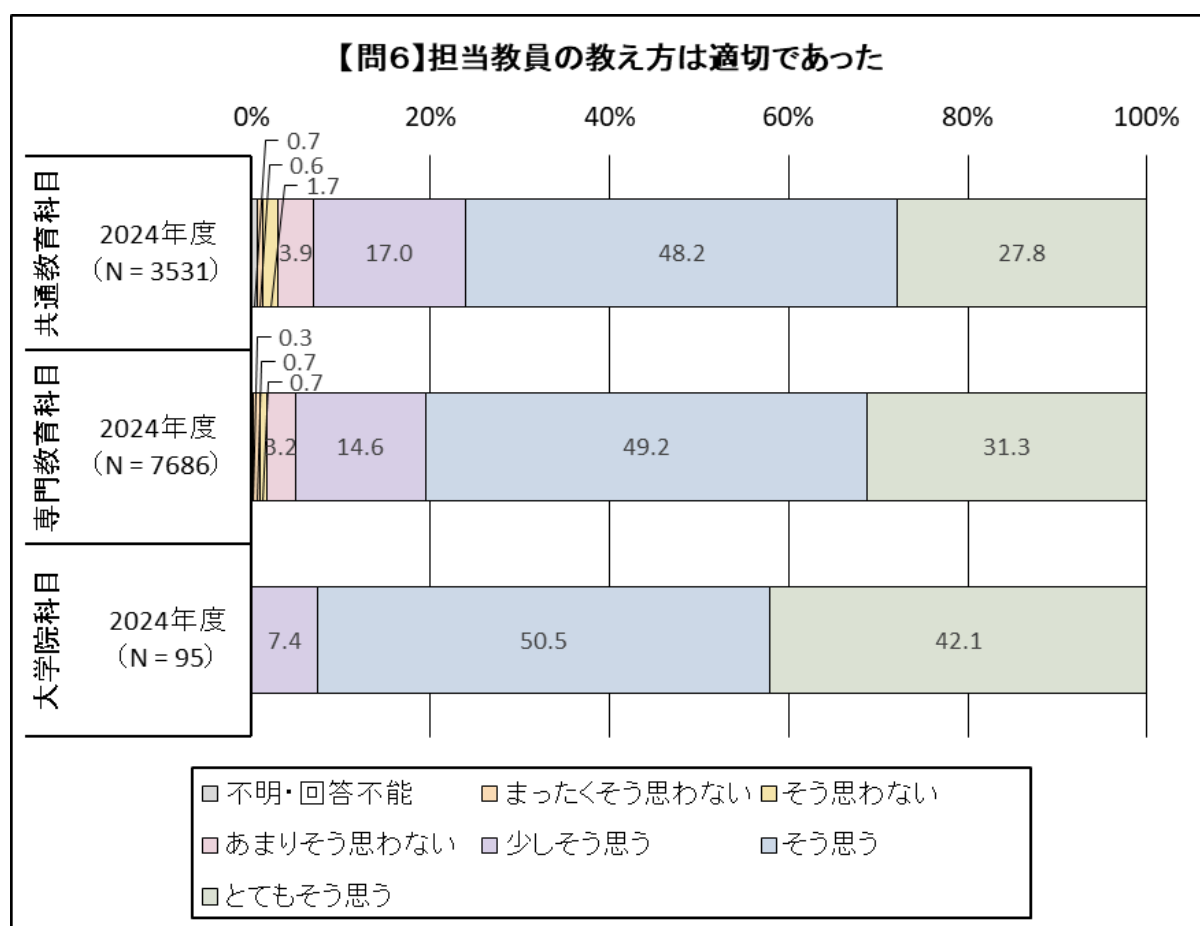
問5：授業の進行について必要な情報が提供された

- ・ 共通教育科目，専門教育科目については「そう思う」または「とてもそう思う」の割合が70%を超える。
- ・ 大学院科目については，「そう思う」または「とてもそう思う」の割合が92.6%と高い。



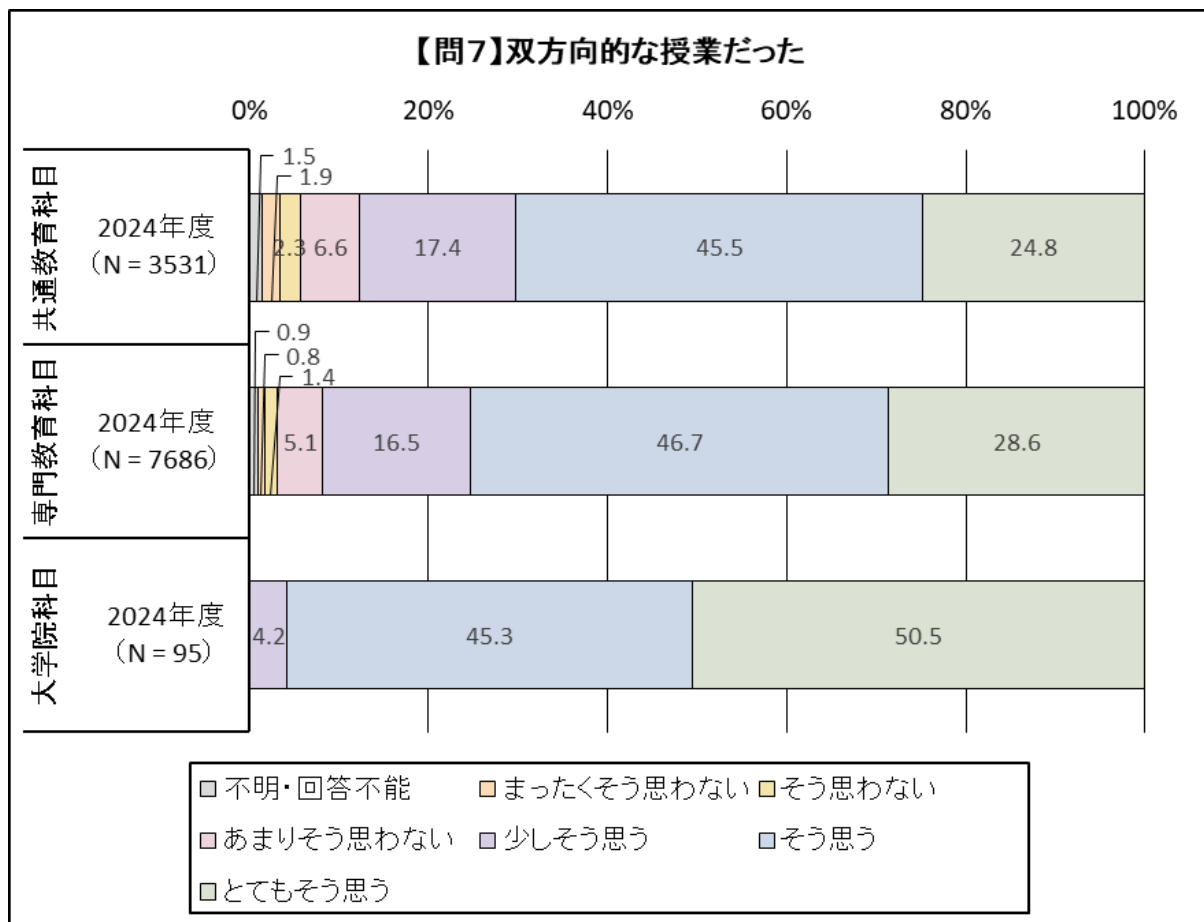
問6：担当教員の教え方は適切であった

- ・「そう思う」または「とてもそう思う」の割合が共通教育科目で76%、専門教育科目で80.5%以上となっている。
- ・大学院科目については「そう思う」または「とてもそう思う」の割合が92.6%となっているが、これは少人数での授業が多いことも関係していると思われる。



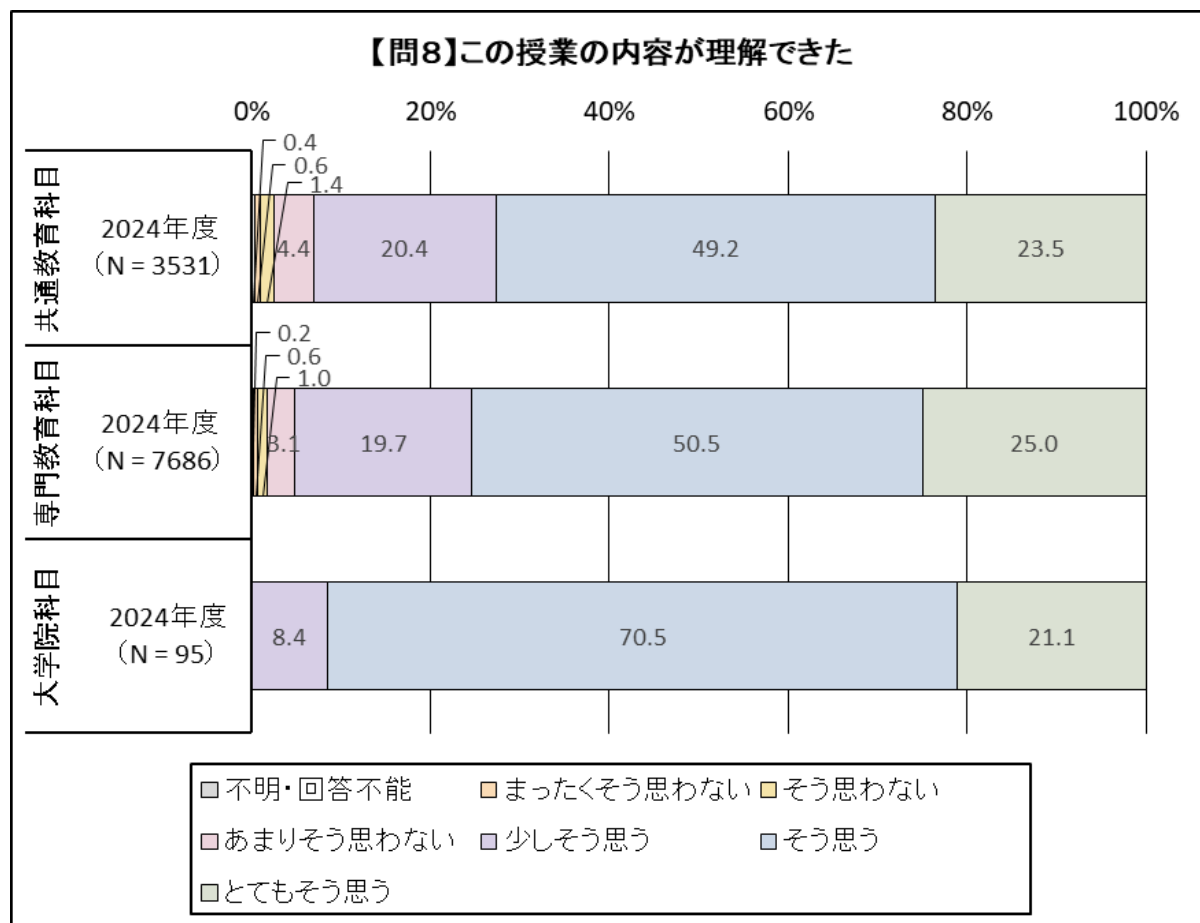
問7：双方向的な授業だった

- ・「そう思う」または「とてもそう思う」の割合は共通教育科目で 70.3%，専門教育科目で 75.3%となっている。
- ・履修者数が少ない大学院科目では「そう思う」または「とてもそう思う」の割合は 95%を超えている。



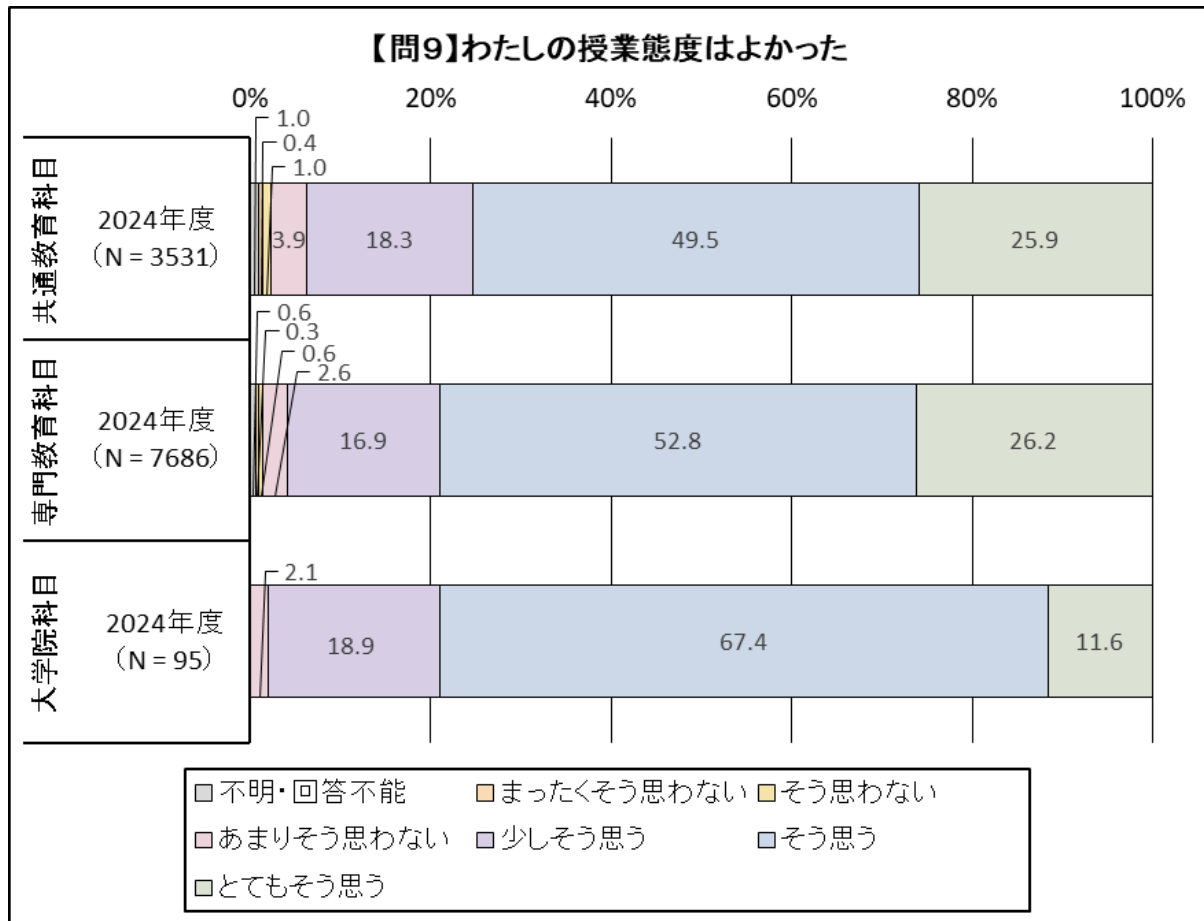
問8：この授業の内容が理解できた

- ・「そう思う」または「とてもそう思う」の割合は共通教育科目で 72.7%，専門教育科目で 75.5%となっている。
- ・大学院科目では 9 割以上が「そう思う」または「とてもそう思う」と回答している。



問9：わたしの授業態度はよかった

- ・ 共通教育科目，専門教育科目については「そう思う」または「とてもそう思う」の割合は75%以上となっている。
- ・ 大学院科目では「そう思う」または「とてもそう思う」が約8割となっている。



問 1 0 : この授業の成績評価方法や成績評価基準について理解できた

- ・ 共通教育科目，専門教育科目については「そう思う」または「とてもそう思う」の割合は 75%以上となっている。
- ・ 大学院科目では「そう思う」または「とてもそう思う」の割合が 90%を超える。

